

富東谷の名所めぐり

積雪の多かった冬もようやく終わり、暖かい春らしい日が続くと、どこかに出かけてみたくなります。

今回は、観光パンフレットでもあまり大きく取り上げていない、町内の隠れた名所を紹介します。

富東谷の目木川・重定川しげだたがわの合流点付近から、目木川沿いに約1.8km遡ると、「こうぼれ岩とケヤキ」という案内看板が目にとまります。そこから山側へ目を向けると、道路から約150m先に巨大な岩がそびえてい



写真1 こうぼれ岩

ます。これが町指定天然記念物「こうぼれ岩」です。

こうぼれ岩は高さ約104m、幅約144mあり、元禄4年（1691）編纂の『作陽誌』によれば、この谷を蝙蝠こうもり谷といい、「同所に大岩有りて方八間、高さ六間、蝙蝠岩と名づく」とあります。地面と岩の間に隙間があり、そこにコウモリが住んでいたため蝙蝠岩の名がついたと言われていますが、地元では「こうぼれ岩」とも呼ばれています。今にもこぼれ落ちそうな岩だからでしょうか。町指定の文化財としては、城跡や古墳などの不動産を除けば最大の文化財で、



写真2 ケヤキ

今流行のパワースポットにもなりそうな場所です。

そのこうぼれ岩の上にはケヤキの木（町指定天然記念物・津山の名木百選）が

自生しています。樹高28m、目通り周囲6.3mを測り、推定樹齢500年で、木の根が岩を伝って地中に下りています。

こうぼれ岩とケヤキのコラボレーションは特異な景観を醸し出し、近くまで行くとジャングルの秘境に行ったような気分を味わえます。

このこうぼれ岩からさらに約3km上流へ遡ると、町指定天然記念物「出合の四季桜」があります。樹高18m、目通り周囲3.4m、推定樹齢250年で、

津山の名木百選にも選定されています。以前は1年のうち春と秋に花が咲いていたことから「四季桜」と名が付いたといいますが、現在は春のみに花を咲かせます。傍らには岡山県森林



写真3 四季桜

研究所で増殖し、昨年譲り受けた四季桜の遺伝子を受け継ぐ後継樹が育っています。山奥の緑を背景に広がる桃色の空間は、見る人の心に癒しを与えます。

富東谷はこうした珍しいスポットや、どこか懐かしさを感じる静かなたたずまいが存在し、特に桜の花が咲く今頃が訪れるには絶好の機会です。是非一度、富東谷の名所を訪ねてみて下さい。

なお、これらの場所は道も狭く、駐車スペースもほとんどありません。訪れる際には通行の妨げにならないよう、また事故にはくれぐれも注意して下さい。

お問い合わせ先

生涯学習課 日下

電話(0868)54-7733